

ご愛読者の皆さまへ ~定期購読申し込みのお願い~

いつもThe Watch & Jewelry Todayをご愛読いただき、有難うございます。
これまで無料にてご愛読いただいている皆様の郵送を順番にお止めさせていただいております。ご購読を希望する場合は、右のQRコードよりご登録をお願いいたします。定期購読料は、年間8500円です。宜しくお願い申し上げます。

□問い合わせ=株時計美術宝飾新聞社(TEL:03-3833-1886 FAX:03-3833-1886)



保険のご相談は(株)東時へ

本社:03-5817-0353 西日本支社:06-6252-4477



●発行所(株)時計美術宝飾新聞社
●編集発行人 藤井正義
〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2
ジュエラーズタウン・オーラム5F
TEL(03) 3833-1886 FAX(03) 3833-1717
<http://www.e-tkb.com>
毎月1日・15日発行
年間購読料8500円/1部450円
振替口座00190-3-57579

FROM THE WORLD
Quality

THE
WATCH & JEWELRY
TODAY

ウォッチ&ジュエリー トウディ

W&J



ジュエリーを輝かせる技術で社会貢献 地域に根差す宝飾小売店を目指して カカシステムJV(JV=共同企業体)

でも成果が確認され
ている(以下が実験
場所とその成果)。



・マンションAゴミ置
き場カラス被害9

5%削減

・新宿西口広場交番裏手の鳩
集団被害50%削減

・練馬区児童館屋上ならびゴミ置き場
被害90%削減

・練馬区子供広場公園カラス被害9

0%削減

・練馬区斎場駐車場ヒヨドリ糞被害7

0%削減

・練馬区住居ベランダ、ムクドリ糞被害
ほぼ100%削減

・埼玉県大宮市倉庫鳩被害80%削
減

・足立区遊技場駐車場鳩糞被害5

0%削減

・秋田県秋田市熊被害対策協力

・米国PS社実証実験協力

宝飾小売店が、地元の
自治体や関係者に鳥獣
害対策の提案を投げか
け、地元企業主導による
事業化に漕ぎ着けた
い」としている。

さらに、全国の宝飾
小売店の現場を関わつ
てきた木村氏の目には、シンクタンクが
発表しているようなジュエリー市場の
回復傾向は全く感じられない映って
いる。「一部の高級ブランドや輸入品な
らともかく、地方の宝飾小売店の店頭

販売の柱は、この20年ほどは展示会販
売であり、その売上を支えてきた常顧
客達の疲弊が最近は従業員達にまで
広がり、顧客と従業員双方の感情が交
錯した先行き不安な空気が現場に充
満している」と指摘する。その結果、売
上の伸びもほぼ限界となり今後の市場

成長は到底計算できるものではないと
説いている。

そんな中、地域で小売業を営む為の
原点回帰は「地域との距離感を縮める
事である」として、同事業は、宝飾小売
店らしい理由や信念をPRしながらの
地元社会への貢献手法と成り得ると
判断しており、宝飾小売店としてまだ諦
めるなど後押ししている。

取次業者を希望しカカシステムJV
から選任された事業者は、まず地元公
共サービスにおける需要や現状につい
て情報収集していく。木村氏はこのプロ
セスに関わり、同事業の導入につい

ての可否を探る作業に入る。
最終的には選任業者がその
地域の唯一の窓口となる形
で、地域の鳥獣害対策に深く
関わり、地元における存在感

を強める事で、本業である地元密着宝
飾小売店としての存在意義を高めても
らう狙いがある。

木村氏は「私は、展示会応援で現場
に立つ際、いよいよ販売のクロージ
ングという時には必ず、お金を払うなら地
元のお店に払って欲しい、地元で使っ

たお金は巡り巡って必ずお客様に返っ
てくると話すんです。お客様に
も気付きを与える一言にな
るんですよ。宝飾

小売店の品は、その性格上、大々的に大き
なマーケットにばら撒くような販売は似
合わないと思うんです。その店のオーナー
が長年の経験とプロフェッショナルな目
で、大切な地元のために用意した

本当に良い品をひとつひとつ丁寧に
手売りするものだと思うんです」と新た
な希望に向けて説明した。

地元との関わりを深め、地元における
存在感を高める取り組みが、我々の
業界においてどのような前例となるの
か今後に注目したい。

現時点でカカシステムJVが公表して
いる取次業者の条件は、本社所在地
以外の地域に支店が無い宝飾小売業
者であり、経営者が満65歳以上の場
合、企業承継の対象が明確である事
が必要としている。また、創業後20年
以上が経過している事も必要となる。

今後、カカシステムJVならびに取次
業者募集に関しての詳細は下記のサイ
トで公表される。

▼カカシステム
<https://r.goope.jp/kakasystem-free/start>

中国の老舗ジュ
エリーメーカーの老
鳳祥(Lao Feng X-
iang)は、中国市場
における若者の金
ブームを捉え日本の
アニメとコラボし8万
円のチャームや7万円のペンド
ントからフィギュア、カードなど販
売するなど、次元を超えるコラボ
に挑戦している。

現在中国では二次元IP(知
的財産)との共同企画を通じて、
「痛文化」の概念を取り入れた
「痛文化」とも称される新しいトレ
ンドが登場している。

老鳳祥はこれまでにも『崩壊:
スターリール』や『機動戦士ガン
ダムSEED』など、様々なアニメ
やゲーム作品とコラボしてきて
いる。中国で開かれた国際デジ
タルエンターテインメントの展示会

「ChinaJoy」では、1kgの黄金製ガン
ダム「フリーダムガンダム」が大きな話
題を呼んだ。

テムまで数百元から
千元以上の価格帯
まで揃っているとい
う。また金製品とい
うことで投資となり
がちだが、買ってい
る人たちの多くは
「情熱」を刺激されている。

一方では、中国の一般的な
ゴールドジュエリーの販売価格
は金と加工費に分かれている
が、コラボ商品においてはすべ
て込みの価格で、複雑な伝統技
術を用いた金製品に比べれば
加工費は安くなっていることも
含め、多くの消費者がコラボ商
品の価格を「良心的」と捉えて
いるとのことで、技術の賃金や流
通の側面においても時代にあつ
た取り組みが進んでいるよう
に思われる。

日本におけるジュエリーの国内市場
の活性化は関係者全員が考えな
ればならない大きな課題となっており、
様々なチャレンジを認め合いながら伸
ばしていかなければならぬフェーズ
にいるはずである。

その為の情報開示や協力、学びなど
多くのことを取り入れなければならない
はずで、協力する人や企業も増やさな
ければならない。また、既存の流通や取引
だけではなくそれぞれの視野を広げ
ることも大事な局面を迎えている。色ん
なことに変化が生まれているが、見落と
せばまた失われ
た30年を繰り
返すことにな
る。詳細は
Watch & Jew
elryのオンライン
で確認を。



Dia Flore

ファンシーカラー ダイヤモンド

〒104-0045 東京都中央区銀座7-5-3 紀文第1ビル6階
Tel 03-5565-3001(代) <http://www.aikai.com/>

AIKEI

アニメ市場も随分と前から中国企業
が進出しているとニュースになっていた
通り、様々なアニメやゲームが世界に
発表され人気を伸ばしている。

金製品のコラボ商品ということから
注目されるのは88万元(約1,760万
円)のフィギュア

に目が行くこと
だろうが、トレ
ンドを後押しする
ように純金製品
から様々なアイ

